

可能性は無限大!

challenge

青森で農業はじめました



新規就農者から学ぶ
就農体験談

令和6年2月
東北農政局青森県拠点

令和5年版
新規就農者マップ



青森県の新規就農者

目 次

	【南部町】田中 広大さん（就農4年目）	1
	【十和田市】畠山 聖さん、恵美さん（就農3年目）	3
	【六戸町】長根 淳一さん（就農5年目）	5
	【青森市】木村 真一さん（就農5年目）	7
	【鰹ヶ沢町】佐藤 洋平さん（就農4年目）	9
	【弘前市】古川 大主希さん（就農4年目）	11
	【田舎館村】葛西 貴大さん（就農3年目）	13
	【大鰐町】成田 正人さん、絵望さん（就農3年目）	15
	【おつ市】佐藤 航さん（就農5年目）	17
	【おつ市】大室 涼さん（就農5年目）	19
	【鶴田町】工藤 龍輔さん（就農5年目）	21

おいしい！子ども達の喜ぶ声が元気の源！

たなか

こうだい

田中 広太さん (32歳)

ミニトマト
寒じめほうれんそう
就農4年目



南部町

History

(就農まで)

南部町出身。鳥取大学に進学し、地域振興を学ぶ。
在学中にゲストハウスの開業、海外に滞在、養蜂のアルバイトなどを経験する。
同窓生の綾乃さんと結婚。長女、長男が生まれ、サラリーマンとして生活する中、実家は代々専業農家。両親のノウハウを引き継ぎたいとの思いが募る。

就農を決意、家族と共にUターン！

就農にあたり、両親→南部町農林課→県に相談。
一年目から収入を得られる施設園芸を選択。
青森県営農大学校のシャトル研修で座学、機械操作等を学び、八戸市のトマト農家で実地研修を行った。
農地は農地中間管理機構から。ハウス施設1棟は自力で建設。機械等は両親から借用し初期投資を節減。
年間通した収入、労働力確保のため寒じめほうれんそうを栽培。

移住後に次男が誕生。ハウスに響く子ども達の笑い声を聞くと、自然と笑みがあふれます。

《活用した支援事業》

- ・農業次世代人材投資資金
(準備型1年)
(経営開始型4年目)
- ・農業経営基盤強化資金
(日本政策金融公庫)



Farm

(経営概要)

- 経営面積：10a (ビニールハウス2棟)
- 栽培品目：ミニトマト、寒じめほうれんそう
- 主な保有機械：トラクターほか (両親から借用)
- 労働力：本人、妻、パート1名
(繁忙期：ママ友、人材サポートなんぶ協同組合ほか)
- 販売先：JA

Own Style (自分流)



暑さもピーク！
頑張りどき！

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 (月)



いい顔で働いてる！

最近、よく言われます。
初めは明け方まで作業したこともあったけど。

頑張りどきは不思議と朝早く目が覚めます。
ぐんぐん気温が上がる正午過ぎ、
しっかり食べて、ゆっくり休む。
出荷に向けて、
もうひと頑張り。

休日は丸々家族と過ごす♪
農業も、子育ても
自分流！

本物のおいしさを！！

有機農業を勉強中。
子ども達が、
「おいしい！」って頬張る、
安心・安全な野菜づくりを
目指しています。

なんぶピクニックマルシェ♪

食べて、遊んで、農業を学べる。
親子で参加できるイベントを開催！
移住して4年。子育て支援も充実の
南部町が大好きです！



Vision

(戦略・将来像)

栽培技術の向上。おいしさを追求しながら、
収量を確保。新たな販路を開拓する。
ハウス4～5棟に拡大し、有機栽培の定着を図る。
10年以内には両親と経営統合して、
りんご栽培にチャレンジする。

Photo album

(写真集)



たわわに実るミニトマト



ハウス内はワンダーランド



もぎたてを頬張る

Message

(農業を始めたい皆さんへ)

『おいしい物を作る』これからは味で勝負する時代。良食味をキープしつつ、
収量UPを目標にする。

『お金の使い方を考える』準備期間を設け、
自分のスタイルを見つける。必要最低限のリストを作成優先順位を決めて
計画的に使うことが重要。

子ども達が最優先！農家の働き方改革を目指す！

ねぎ・にんにく
就農3年目



はたけやま たかし
富山 聖さん (38歳) 右奥
えみ
恵美さん (38歳) 右前



十和田市

History (就農まで)

十和田市出身。正義感が強くて、子どもの頃の夢は警察官だった聖さん。
一方、水稻、野菜を栽培する山あいの農家で育った恵美さん。
自分達に農業は向かないと思っていました。同じ食品加工・販売の企業に勤務する中、食品加工業は原料（野菜や肉）、一次産業がなければ成り立たない職業だと痛感…。

ものづくりを柱に、農業に夢が膨らむ

就農にはお互いの両親も賛成。
恵美さんの実家で栽培していたねぎ、年間通した仕事・収入確保のためににんにくを選択。
十和田市内のにんにく農家で栽培技術、青森県営農大学校で機械操作等を学び、大型特殊等の免許を取得した。
農業機械、施設は借用できたが、農地の確保は難航。
途方に暮れる中、研修先の紹介で畑1haを借りることができた。今後、規模拡大する際の課題。
週末は、畑に集合する仲よし5人家族。自分達のペースで、出来ることをひとつずつ頑張っています。

《活用した支援事業》

- ・農業次世代人材投資資金
(準備型1年)
(経営開始型3年目)
- ・アグリマイティー資金
(JA)



Farm (経営概要)

- 経営面積：1ha
- 栽培品目：にんにく、ねぎ
- 主な保有機械：収穫機、管理機、にんにく植付機、
にんにく堀取機ほか
- 労働力：本人、妻
(繁忙期：母、近所の方々)
- 販売先：JA

Own Style (自分流)



畠山さんの一年

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12 (月)
《にんにく》 R4年産 出荷終わり			R5年産 防除 → → 収穫			調製 (出荷まで続く)			R6年産 植え付け → →		R5年産 出荷始め
《ねぎ》 は種 → 土づくり			定植 → 防除・施肥 →			収穫・出荷					



勤務時間は基本8時～17時！

雨の日と学校行事のある日はお休み。
子ども達の予定で終業時間も臨機応変。
作業の遅れは取り戻すもの！あとから頑張る！
我が家の働き方改革実践中。

旅へ♪

年に一回は遠方に
目下計画中！
だけど…最近、
子ども達が忙しい☹

一本のねぎから学んだこと！

毎年異なる天候
手植えと機械植え
肥料と農薬
組み合わせとタイミング
暑さと雑草との闘い
長さは同じでも
太さが違う
価格は雲泥の差

毎年こう…とか
だいたい…じゃなく

経験と実績を見える化して
聞かれたら答える！

そんな農家になりたいと思う。



高校生・中学生・小学生
三人寄れば文殊の知恵
子ども達が成人するまで
あと10年は
ひたすら頑張る



農業に定年なし
二人のペースで健康、長生き
農業で余生を謳歌する！

Vision

(戦略・将来像)

二人で出来る最大の面積で良品質のものを
作る。にんにくは面積拡大。アンテナ
を張り、農地の確保、農業機械を取得し
ていく。日々のデータを蓄積、分析して、
栽培管理、経営計画に役立てていく。

Photo album

(写真集)



息の合ったお2人です。



長男、長女頑張っています。



次男も箱作りでお手伝い。

Message

(農業を始めたい皆さんへ)

農業に関してのTV番組や芸能人に惑わ
されないように。きっかけとしては良
いが、農業は収穫作業(良いところ)
だけではない。
ビジョン(計画)を作成すること。自
己資金は必要で、営農資金、生活費を
含め、お金の使い方を考えて欲しい。

公務員からの転身！農業を引き継ぐ決意。

にんにく・ごぼう
ながいも・水稻
就農5年目



ながね

長根

じゅんいち

淳一さん (43歳)

六戸町

History

(就農まで)

六戸町で代々続く農家の長男。
三本木農業高等学校を卒業後、六戸町役場の職員となり、農政課等を担当。
地域では高齢化が進み、後継者のいない現状を目の当たりにする。

若い力で地域と農業を守る！

父が還暦を迎え、一緒に農作業しながらノウハウを学びたいと思うようになった。
40歳を前に役場を退職、翌日から就農した。
実際に作業してみると、機械操作、肥料や農薬の使用方法など、知識と実践の違いに気付いた。

「まだまだ見習いです」と笑顔で話す。熟練の技を要するごぼう、にんにくの栽培。
従来型トラクターに自動操舵システムをプラスし直進機能で技術力をカバーし、省力・軽労化を図るなど、スマート農業を実践している。

町やJA等の取組にも積極的に参加し、地域の農業、豊かな田園風景を守るため、若い仲間達と共に歩んでいます。

《活用した支援事業》

利用なし



Farm

(経営概要)

- 経営面積：9 ha
- 栽培品目：にんにく、ごぼう、ながいも、水稻
- 主な保有機械（父所有）：トラクター、コンバイン
ブームスプレーヤーほか
- 労働力：本人、祖母、父母、義弟、叔母
（繁忙期：にんにく収穫期ほか集落の方々）
- 販売先：JA・市場

Own Style (自分流)



長根さんの一年

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12 (月)	
《ごぼう》				は種始め	→	は種終わり	→	防除	→	収穫・出荷始め	→	→	収穫・出荷終わり
《ながいも》			春掘り収穫・出荷			植え付け	→	防除	→	→	→	→	秋掘り収穫・出荷
《にんにく》		R4年産 出荷終わり		R5年産 防除	→	→	→	→	→	R6年産 植え付け	→	→	R5年産 出荷始め

地域を元気にしたい！

【ちびっこベジタランド】

土に触れる機会のない子ども達に、農業と食の大切さを伝えるため六戸町の若手農業者が結集！
農園を開園しました。

野菜嫌いでも、自分で育てると食べ始める子ども達！
将来は農業の担い手に!!



農地を守り、未来につなげる！

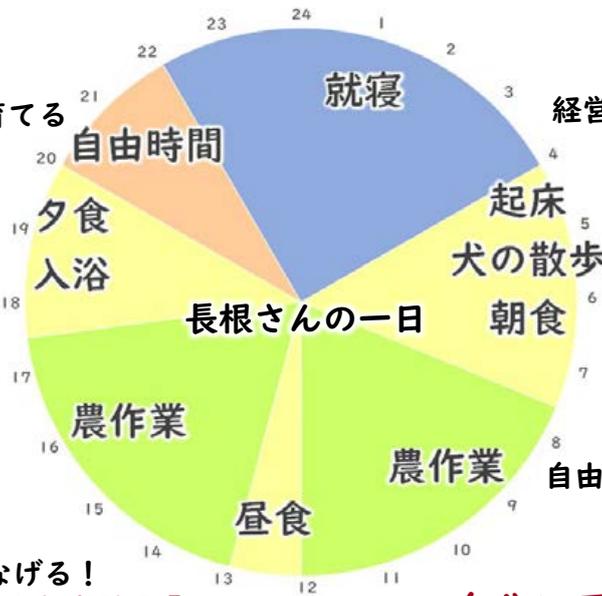
【多面的機能支払交付金事務局】

【ラジヘリオペレーター】

地域全体の作業の効率化を図る。
7月下旬～8月中旬、地域の水田を飛び回る。
今年は酷暑で少々減量。

【青申サポート】

経営の安定は青色申告から！
2月から3月までは
六戸町役場にてサポート。



愛犬と散歩がてらの見回りで朝食前に草刈りしたり
自由時間はパソコンに向かう
農休日は少ないけれど...

地域が元気になることで

自分に元気が湧いてくる！

Vision

(戦略・将来像)

一連の作業を習得してから、新たな作物や技術、農業機械を導入する。増えつつある地域の耕作放棄地を、借りる、請け負う、または購入して、規模拡大や収入アップを図り、農地を守っていききたい。

Photo album

(写真集)



にんにくの種子準備



ながいも畑で



ごぼう畑で

Message

(農業を始めたい皆さんへ)

農業実務と座学は重要。
見て、聞いて、経験すること。農業関係者だけではなく、他産業とも通じて知見を広げる。
例:飲食店から食に関する情報を得る。
地域の先輩方や友人を通じ、仲間を増やすことも大事。

失敗は成功のもと。反省は次のステップへ！



ミニトマト
就農5年目

きむら

しんいち

木村

真一さん (37歳)



History

(就農まで)

青森市出身。サッカー少年が教員を目指し進学するも、「サッカーに携わる仕事がしたい」と、タキイ研究農場付属園芸専門学校に進む。芝生等の栽培管理を専門に農業全般を学び、卒業後はグラウンドキーパー（サッカースタジアムなどのグラウンドを整備する仕事）として大阪や青森で約10年間勤務。就農した友人と話すうち、

自分で段取り、植物を育てたい！

農業は楽しそうだ。

そして、トマトの品種やバリエーションの多さにも魅力を感じ、就農を決意した。

両親の勧めで、あおもり就農サポートセンターに相談。ミニトマトの栽培技術は、両親やJA、ミニトマト部会長の指導を受けながら、実践を経て、現在に至る。

就農時、農地取得に苦労したが…

母親からトラクター30psのプレゼントがあった（感謝）。

《活用した支援事業》

- ・農業次世代人材投資資金（経営開始型5年目）
- ・強い農業・担い手づくり総合支援交付金
- ・令和3年度青森県野菜等産地力強化支援事業（県単独）
- ・令和3年度青森市トマトハウス整備事業（市単独）

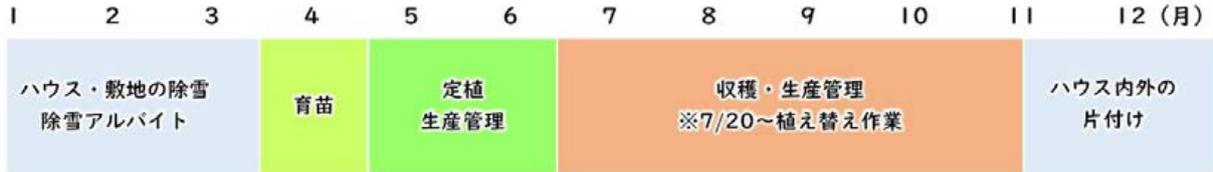


Farm

(経営概要)

- 経営面積：パイプハウス12棟（45a）
- 栽培品目：ミニトマト（サマー千果、アイコ他）
- 主な保有機械：トラクター、かん水装置、畝立て機
- 労働力：本人、両親、盟友（千代谷 将人）とその両親（繁忙期：アルバイト5名程度）
- 販売先：JA

Own Style (自分流)



青森市孫内地区は市内でも有数の豪雪地帯。冬期間は除雪作業・除雪アルバイト。パイプハウスを雪から守るため、育苗ハウス1棟を残し、ビニールは除去します。



作業に追われ、休日を作れない時もあるけど、盟友・千代谷と協力して効率的な作業を目指しています。(写真:右)

休日は♪

2歳と4歳の息子中心！
一生懸命遊ぶ！

本音は…早く…
社会人サッカーに
参加したい！



近い将来！！

息子達をスポーツ少年団へ送迎して、
社会人サッカーに参加しているはず！



自宅からハウスまでは
車で片道約30分

朝は
ラジオで天気をチェック
1日の作業を
シミュレーション

夕方は
夕食を楽しみに帰宅

ミニトマトも、芝生も、
育てる楽しみは同じ！

青森でも芝生を育てたい。
真っすぐなラインを引きたい。
芝生が好きだ！サッカーが好きだ！

Vision

(戦略・将来像)

法人化 (令和5年度中を予定)。
目の前の目標は収穫量を増やし、経営の
安定を図ること。
需要に応じて、芝生の栽培。

Message

(農業を始めたい皆さんへ)

農業は、自分の判断で経営を決める
ことができ、手をかけた分、自分の儲け
(収入)に繋がる。
毎年が勝負！と思って、失敗を糧に取り
組んでほしい。

Photo album

(写真集)



鈴なりのミニトマト



トラクター

(ハウス作業のため安全フレームを倒しています)



芽かき作業

聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥。

アスパラガス
就農4年目

さとう

ようへい

佐藤 洋平さん (36歳)



佐藤ヶ沢町

History

(就農まで)

佐藤ヶ沢町出身。電機系企業に勤務。園芸農家の妻と出会い結婚。野菜苗、花き苗、野菜生産等のお手伝いをおして「農業おもしろそう」。義兄が、農業次世代人材投資資金を活用し、就農したことを聞いて「自分もやってみたい」、「就農するなら応援する」という父の言葉を受けて、就農を決意、退職した。

アスパラガスが大好きなんです！

一番好きな野菜を選択。妻の理解は大きく、農地を実家から無償で借用してくれた。トラクター等は父から借用して経費を削減。

就農1年目はインターネット等の情報を頼りに栽培管理を行ったが、全然上手くいかず。その後、JAの研修会に参加したり、JA担当者・アスパラガス部会長・周りのアスパラガス生産者に何度も足を運び、話を聞いて改善、現在に至る。

まだまだ、納得できる収穫量ではないが、少しずつ進歩していると思っています。

《活用した支援事業》

- ・農業次世代人材投資資金 (経営開始型4年目)
- ・新規作付け支援事業
- ・アスパラガス立茎資材支援事業 (JA単独事業)



Farm

(経営概要)

- 経営面積：50a
- 栽培品目：アスパラガス (ゼンユウガリバー、ウェルカムAT)
- 主な保有機械：トラクター、土寄せ機、動力噴霧器
- 労働力：本人、妻、両親、弟
- 販売先：JA、海の駅わんど等

Own Style (自分流)



収穫時期の5月と8月は、ほぼ休みなし。
雨にも負けず、風にも負けず、収穫適期のアスパラガスが待っています。

インドア派

休日は夫婦とも自宅で過ごす。
映画・ドラマ・アニメ・
YouTube等の鑑賞が趣味。

鑑賞時には
お気に入りの
お菓子とコーヒー

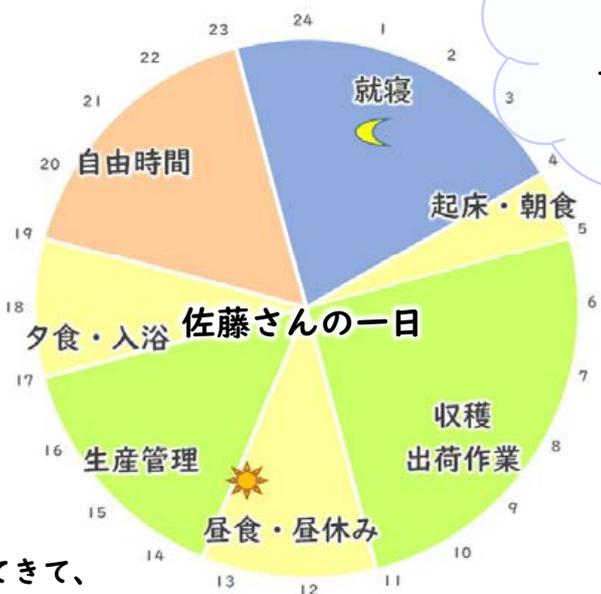


猫に癒される日々

実家から3匹の猫がやってきて、
我が家のアイドルに!!

4時起床は…
まだ薄暗く正直眠い!

でも…
ずっしり!
手ごたえを感じると、
不思議と明日も
頑張ろうって!



Vision

(戦略・将来像)

気候に左右されない安定した環境でアスパラガスの栽培をするため、20a程度の耐候性ハウスまたはパイプハウスを建設。他産地と差別化を図るためブランド化を検討し、販売戦力に貢献したい。

Message

(農業を始めたい皆さんへ)

就農1年目はわからないことだらけ。大変だけど、農業はやりがいがある。2年目が勝負の年。自身の勉強が必要となるが、一人で抱え込まないこと。わからないことは、JAや周りの生産者に恥ずかしがらず積極的に聞いて学んでもらいたい。

Photo album (写真集)



岩木山を望む畑



収穫作業 (本人)



収穫作業 (妻)

可能性広がる、一生の仕事を見つけました！

りんご
就農4年目

こがわ

だいすけ

古川 大主希さん (35歳)



★ 弘前市

History

(就農まで)

弘前市出身。高校卒業後、就職を機に上京したものの2年後、生まれ育った弘前へUターン。りんご販売店を経て、材木店で勤務。そこでりんご農家と大工を兼業している方と知り合いりんご栽培についていろいろな話を聞いていました。その後、自分の一生の仕事について考えていたところ、弘前市の主産業の「りんご栽培」で課題となっている後継者不足のニュース等を実際に見て、就農を決意しました。

美味しい弘前りんごを全国に届けたい！

就農にあたり、農地はりんご販売店で働いた時の先輩から紹介してもらい、栽培管理されていた優良園地を取得。一年目から収穫が可能であったものの、ゼロからの就農で研修等も受けていなかったため、収量の約半分が加工用になってしまいました。

それでも気持ちを強く持ち、ほぼ毎日、園地に通いながら、近隣の生産者や農協の普及指導員の方々にアドバイスいただき、一年を通しての様々な作業や技術を学びました。

4年目の今年、皆さんのお陰で、品質、収量ともに大きく伸ばすことができています。

《活用した支援事業》

- ・ 農業次世代人材投資資金 (経営開始型4年目)
- ・ 資金調達 (日本政策金融公庫)



Farm

(経営概要)

- 経営面積：1.9ha
- 栽培品目：りんご
- 主な保有機械：スピードプレーヤー、草刈り機
高所作業車ほか
- 労働力：本人、母親 (繁忙期：アルバイト7名)
- 販売先：JA、市場、仲買人

Own Style (自分流)

古川さんの一年

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 (月)



日々の精進

整枝・剪定作業や摘果、選果作業は熟練の技。毎日が勉強。
見栄え良く、蜜の詰まったおいしいりんごを作りたい。
そして、独自で販路を広げていきたい。



大きくなったら
僕に任せて！
頼もしい子ども達

子ども達に合わせて
早寝早起き。
たまの休みは家族サービス。
そして、
夜はビールで乾杯！



今年の夏は暑かった…

着色のための葉取りが致命傷。
葉を取らなくても
日焼け果発生

値上がりの波…

園地までは車で
片道40分。
燃料費をはじめ
資材も農薬も
すべて高騰

不安要素は多いけれど
可能性広がる、りんご栽培。
子ども達につなげていきたい！

Vision

(戦略・将来像)

当面は栽培面積を増やしたい。ももやいちごなどの栽培にも挑戦したいです。
経営が安定し余裕が出てきたら、自家栽培の果物を使って、直売店やカフェの経営もしてみたいです。

Photo album

(写真集)



高所作業車を導入
収穫作業が楽に



たわわに実ったりんご



りんご園運搬車
(通称オバケ)

Message

(農業を始めたい皆さんへ)

ゼロから就農は、栽培技術の習得の他、園地や資材の確保、資金調達など準備が沢山あります。
また、家族の理解、農協や市役所等の支援も大事です。まずは、いろいろな人に相談してみましょう。

自然が相手。人事を尽くして天命を待つ！

かさい

たかひろ

葛西 貴大さん (29歳)

いちご
就農3年目



田舎館村

History

(就農まで)

田舎館村出身。幼少期は農業に興味がなかったのですが、農業高校、青森県営農大学校へ進学。卒業後は肥料メーカーに就職し、営業職として4年間、東京と青森で勤務。青森で担当したJAの方々とお会いしているうちに、地元で働くことに魅力を感じ、いちご農家に挑戦しました。

美味しい冬いちごをお届けします！

地元の田舎館村には「田舎館いちご研究会」があり、甘くて香り豊かないちごの栽培が盛んです。

就農について悩んでいた時に、研究会の方が親身に相談に乗ってくださり、それがきっかけでその先輩から研修を受けました。

研究会の寒さを活かした栽培の知識や技術を1年半学び、令和3年に独立。クリスマス時期に需要が高まる冬いちごの栽培をしています。多くの方へ、美味しい田舎館いちごをお届けしたいです。

《活用した支援事業》

- ・農業次世代人材投資資金
(準備型2年)
(経営開始型3年目)
- ・資金調達
(日本政策金融公庫)



Farm (経営概要)

- 経営面積：9.9a
(ビニールハウス3棟+育苗ハウス1棟)
- 栽培品目：冬いちご (品種：とちおとめ)
- 主な保有機械：トラクター、畝上げ機、
ハウス暖房ボイラー
- 労働力：本人 (繁忙期：親戚2名)
- 販売先：市場

Own Style (自分流)



目指せ坪単価2万円！ (冬いちご一人前の目安)

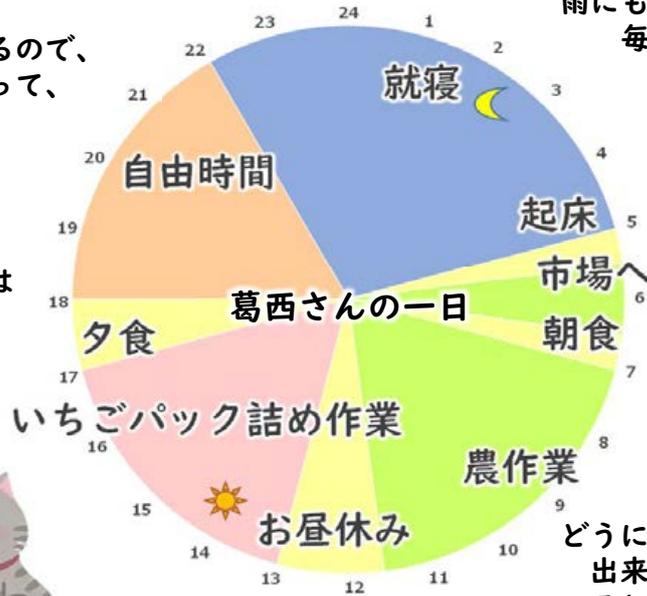
サラリーマン時代と比べると、
仕事量は約5倍！
メンタルは鍛えてあるので、
一人前の目安に向かって、
邁進していきます。

仕事終わりの楽しみは
DVD鑑賞！

余裕ができたなら…
猫を飼ってみたい



**乾燥に弱い冬いちご。
冬場のハウスの湿度管理が一番重要。**
雨にも負けず、風にも負けず、
毎日ハウスに向かいます。



農業は
天候や植物が相手。
どうにもならないこともある。
出来るだけの力を尽くすこと
それが結果に繋がっていく。

Vision (戦略・将来像)

今も師匠に相談しながら、日々努力しています。早く一人で美味しいいちごが作れる様になりたいです。
収入の安定を図るため、ハウスを一棟増設したいです。

Photo album (写真集)



育苗中の苗



元気に育っています



12月頃収穫予定

Message (農業を始めたい皆さんへ)

農業を始めるためには、経営資金や生活資金の準備が必要です。そのための補助金がありますが、農地を用意しないと補助を受けることができません。事前に農地取得の準備をしましょう。

何事も頑張りすぎないこと



なりた

成田

まさと

正人さん

(43歳)

えみ

絵望さん

(43歳)



大鰐町

History

(就農まで)

大鰐町出身。絵望さんは元保育士。高齢化や人口減少の影響で、生まれ育った町や地域の活気がなくなっている事が気になり、町を元気にするため自分に何かできないかと模索。子供の頃からスキーや陸上で体を動かす事が好きだった絵望さんは、農作業はスポーツに似ていると思い、「そうだ！自分で農業を始めよう！」と動き出しました。

甘いトマトを子供たちに届けたい！

保育士時代、給食に甘くて美味しいミニトマトが提供されたとき、子ども達は残さず食べてくれました。そこで、自ら甘くて美味しいミニトマトを作って届けたいと、就農を決意。

知り合いの農家や町役場へ相談、家族や地域の皆さんの協力をいただき、町内のミニトマト農家の元で、一年間の作業を手伝い、生産技術を学びました。研修を終える頃には、絵望さんの頑張っている姿を見守ってきた正人さんも、会社勤めを辞めて一緒に農業に取り組むと決意し、夫婦で甘くて美味しいトマトを作っています。

《活用した支援事業》

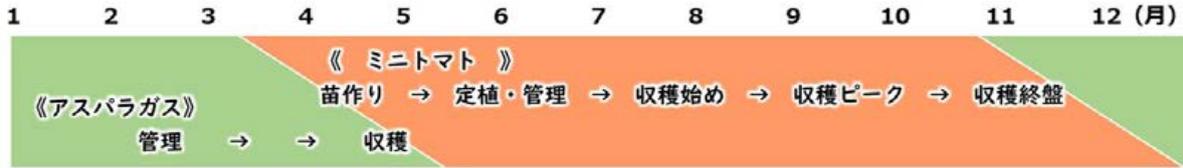
- ・農業次世代人材投資資金 (経営開始型3年目)



Farm (経営概要)

- 経営面積：ミニトマト80坪3棟、60坪2棟
アスパラガス10a
- 主な保有機械：トラクター(中古)、エンジンポンプ、ミニトマト選果機、かん水装置
- 労働力：主に夫婦、繁忙期は絵望さんの母が手伝い
- 販売先：規格品はJA、規格外品は自宅前で無人販売

Own Style (自分流)



苗作りから始まるミニトマト栽培。
大きな実りとなるように、大切に育てています。

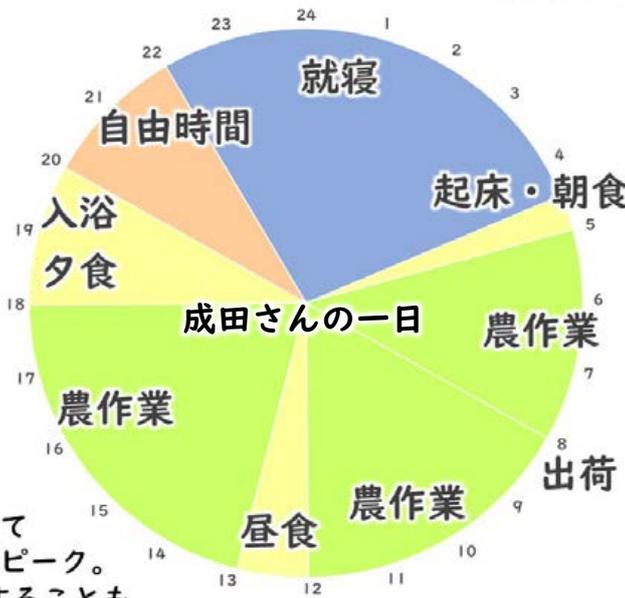


収穫期は、朝の涼しい時間から作業開始。

明朝8時の出荷にあわせて選果・パック詰め作業がピーク。時には21時頃まで作業することも。

基本、休日はないけれど、夫婦共に、体を動かすのが好き。

10月以降は、正人さんはアルバイト、絵望さんはスキー場に勤務しています。



おすすめレシピ



たっぷりミニトマトのアヒージョ

Vision

(戦略・将来像)

将来的には、野菜の他に果物栽培にも取り組み、経営安定を図りたい。
当面は、初期投資の少ない方法での規模拡大を検討し、令和6年からハウスメロン栽培にチャレンジ。ハウスメロン離農者から農地を借り、栽培指導を受けながら取り組みます。

Photo album (写真集)



赤く色づいたミニトマト



大活躍の選果機



選別したアスパラガス

Message

(農業を始めたい皆さんへ)

農業は頑張れば頑張った分、自分の収入に繋がる、やりがいがある職業です。また、子供の行事や生活スタイルに合わせて時間調整しながら作業の組み立てもできます。ワーク・ライフ・バランスをしっかりと考え、頑張りすぎずに仕事と家庭を両立させましょう。

失敗、苦労はあるが農業は楽しい！

夏秋いちご
就農5年目



さとう

佐藤

わたる

航さん (37歳)



むつ市

History

(就農まで)

むつ市出身。神奈川県で色々な職業を経験してきたが、会社組織の中で、自分が考える仕事の進め方ができないことに違和感を抱いていた。Uターンして実兄の農作業を手伝ううちに、面白さとやりがいを感じるようになった。

自分で考えたことが実現できる！

農業に魅力を感じ、就農に向けて青森県下北地域県民局に相談したところ、下北地域で力を入れている夏秋いちごを勧められた。

その後、地域のいちご農家で研修を受け、いちごの栽培技術やビニールハウスの設置方法等、ノウハウを学んだ。農地は、研修先の紹介で借りることができ、必要な整備を進めて、念願のビニールハウスを設置した。

農地の確保やビニールハウスの設置、冷蔵庫や軽トラック等の資金確保に苦労したが、国や県の支援事業を活用して農業を開始した。

《活用した支援事業》

- ・ 農業次世代人材投資資金 (準備型1年) (経営開始型5年)
- ・ 産地パワーアップ支援事業
- ・ 青森県非農家出身者再チャレンジ支援事業



Farm

(経営概要)

- 経営面積：21a (ビニールハウス7棟)
- 栽培品目：夏秋いちご (すずあかね)
- 主な保有機械：トラクター、自動かん水装置
- 労働力：本人、パート従業員3名
- 販売先：野菜仲卸業者、地方卸売市場など

Own Style (自分流)



下北地域の夏秋いちごは、主力産地の出回りが少ない時期に出荷

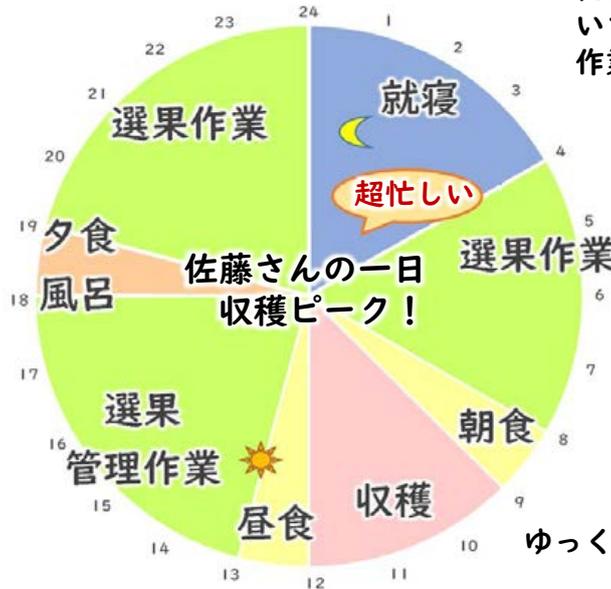
良品のいちごを継続して出荷するため、収穫・選果作業とかん水、薬剤散布、株整理などの管理作業を並行してやるのが、とても重要で大変。

収穫作業は午前中！
出荷時間に間に合うように収穫ピーク期は大量のいちごを自分の目で選果作業に集中。

夏は換気のためハウスを開放してるけど…
令和5年の夏は暑くて、いちごも、自分も、参りました。



ハウスの管理猫
プーマくん



食事もある時間がある感じ。

オフの間は
趣味の釣りなどして
ゆっくり鋭気を養っています。

Vision

(戦略・将来像)

収穫時期は寝る暇もないくらい忙しいが、良品質のものを継続して生産・出荷できるように、今後も栽培技術を磨いていく。ビニールハウスを増設し、需要がある長ねぎも取り組んで、収益の安定を目指します。

Photo album

(写真集)



いちごの確実な受粉のため
養蜂家の協力でハチを導入



香りと甘さと酸味がマッチ
「すずあかね」



いちごの収穫作業の様子

Message

(農業を始めたい皆さんへ)

自然が相手なので、失敗や苦労は数えきれないほどあるが、頑張った分が結果につながるの、面白くやりがいが生まれます。

失敗や苦労をすることで、自ら調べ勉強するので、何より自身の成長につながります。苦労は買ってでもした方がよいと思います。

就農5年目。まだまだ勉強中！

夏秋いちご
就農5年目



おおむろ
大室
りょう
涼さん (29歳)



むつ市

History

(就農まで)

むつ市出身。就農前は海上自衛官。仲卸業(野菜)の父から「下北地域の夏秋いちごは、まだ無名だが伸びしろがある。」と聞き興味をもった。一生働ける仕事をしたい、農業に参入したい、との思いから、思い切って退官し、就農することに。

悩んだ末…夏秋いちごに決めた！

青森県下北地域県民局に就農相談したところ、トマトや夏秋いちご栽培の園芸農家を紹介され、4ヶ月間の農業研修を行った。

「夏秋いちごの栽培は難しいが、収入は期待できる！」
父や研修先、夏秋いちごを栽培している同級生から勧められ、挑戦することを決意。

就農時は、農地の確保を始め、なにから、どうやればいいのかも、わからないことばかり。研修先をはじめ周囲のいちご農家等に相談して、一つ一つ課題を解決していき、ビニールハウス4棟からスタートした。

徐々に規模拡大し、令和4年には就農時の目標だった8棟を達成した。

《活用した支援事業》

- ・農業次世代人材投資資金(経営開始型5年)

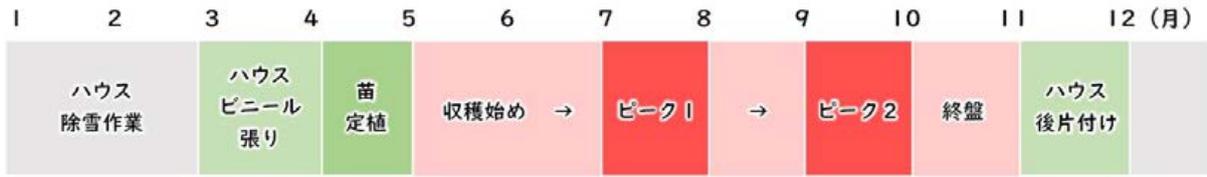


Farm (経営概要)

- 経営面積：30a
(ビニールハウス8棟)
- 栽培品目：夏秋いちご
(すずあかね6棟、赤い妖精2棟)
- 主な保有機械：トラクター、自動かん水装置
- 労働力：本人、パート7名
- 販売先：野菜仲卸8割、市場2割

Own Style (自分流)

大室さんの一年



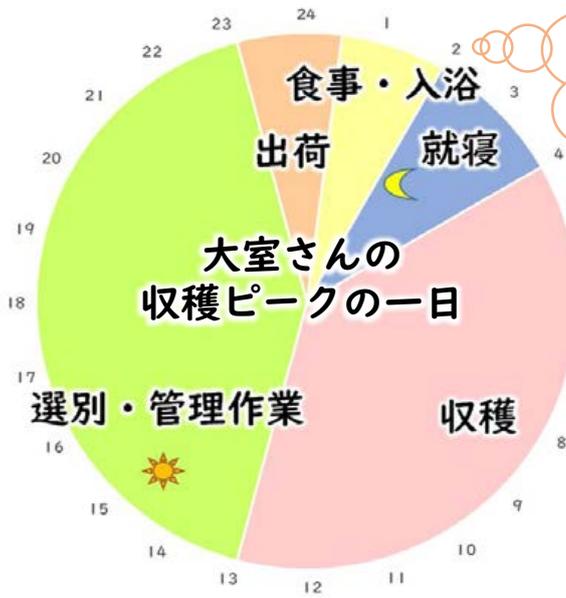
一年はこんな感じ。

5月から収穫が始まります。
ハウス保守のため、冬季の徐雪作業も重要です。



養蜂家の協力で
受粉のため頑張るハチ

SNSで情報交換
全国のいちご農家と
繋がっています。
暑さ対策も
情報をいただきました。



収穫期はなんとー！
食事は基本的に一日一回。
今では体が慣れました。

←←収穫のピーク時は
こんなに忙しくなります
忙しい時は
寝るヒマもありません。

一番の楽しみは…
今は家族、
子供と遊ぶこと。

Vision (戦略・将来像)

収穫ピーク時は人手の確保など色々大変だが、全国のいちご農家の情報を集め、効率化を図りながら、もう少しハウスを増やしたい。
安定して高品質ないちごと収穫量を確保することで、家族が安定して生活していけるのが目標。

Photo album (写真集)



長い棒で天井まで大開放



きちんと手入れされたハウス内



おいしそうないちご

Message (農業を始めたい皆さんへ)

夏秋いちご栽培は難しい。その農地(土壌特性や水分など)に適した栽培方法が必要なので、マニュアル通りの栽培ができない。手を抜けば、そのまま収穫量や品質に返ってくるので、しっかり観察して手を抜かないこと。自分で考えて行動した結果が自分に返ってくるのが魅力！

気合で何とかなる! 最後は「力技」!!

きゅうり
就農5年目

くどう

工藤

りゅうすけ

龍輔さん (37歳)



History (就農まで)

鶴田町出身。将来は農業に関わる仕事に就きたいと思い、高校卒業後は青森県営農大学校に入学し、ながいも栽培を専攻。卒業後は一旦農業系の県内企業に就職したものの、仕事に追われ、これが将来やりたかった仕事なのかと考え、長男であるため実家に戻り、JA職員となったが、父の病気を機に就農を決意しJAを退職。就農に当たっては、JA勤務時に感じていた「単一作物の経営ではなく経営安定や危険分散を図るために複合経営を行うこと」を目指し令和元年に就農した。

りんごと野菜の複合経営を目指す!

就農時に、実家のりんご園から60aを譲り受け、すぐに更新のため改植を実施した。複合経営を行うため、うち10aに露地栽培きゅうりをJA指導を受け作付けを始めた。改植りんご園は、令和6年頃から収穫が可能となる。現在りんごの収入がないので9月はJAでアルバイトをしている。きゅうり栽培は軌道に乗ったものの、朝夕の収穫作業で休めないため、令和5年からピーマンの試験栽培を始めた。いずれは半々の栽培面積にしたい。

《活用した支援事業》

- ・農業次世代人材投資資金
(経営開始型5年)
- ・たい肥購入支援事業及び
きゅうり用支柱支援事業
(JA単独事業)



Farm (経営概要)

- 経営面積：60a
- 栽培品目：きゅうり、ピーマン、りんご
- 主な保有機械：トラクター用耕うんロータリー
(その他農業機械は両親から借用)
- 労働力：本人(繁忙期：本当に困ったら妻)
- 販売先：JA

Own Style (自分流)

工藤さんの一年

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 (月)

《 きゅうり 》 準備 → 定植 → 管理 → 収穫始め → 収穫終わり

《 りんご 》 剪定 剪定枝片付け → → 管理 → → 収穫始め → 収穫終わり 剪定

アルバイト

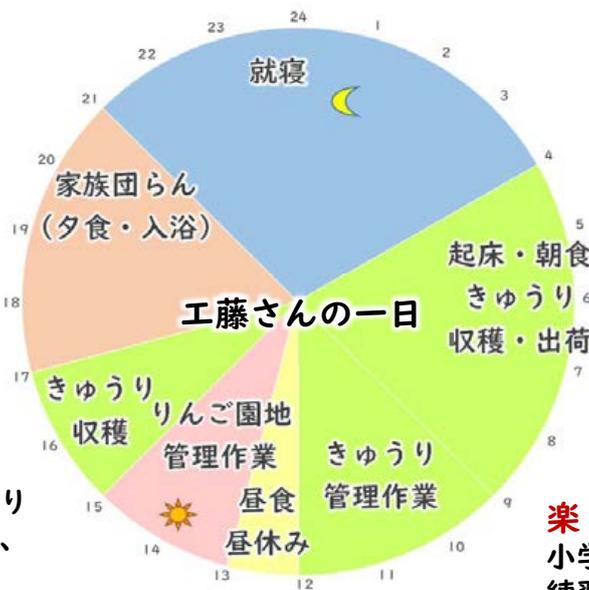
一人で大丈夫？

気合で何とかしている。最後は「力技」で対応。農業はキツイが頑張った分だけ自分に返ってくるもの。

猛暑をしのいだ？
自作の休憩所。



ピーマンは高温障害により商品化はわずかでしたが、いい勉強になりました。



趣味は？
漫画を読むこと。

楽しみは！
小学生の子供の野球応援と練習の手伝いです。

Vision (戦略・将来像)

将来は実家のりんご園 (1ha) を引き継いで計画的に改植を行っていきたい。
「りんごと野菜の複合経営で目指せ売上一千万円！」

Message (農業を始めたい皆さんへ)

いろいろな人とのつながりを大事にしましょう。特に仲間は大事!!

Photo album (写真集)



きゅうりの収穫は休めない



ピーマンの栽培方法を習得



来年からりんご収穫が始まる

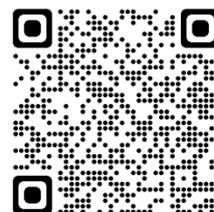
新規就農に関する情報は、
農林水産省及び東北農政局のホームページでご覧いただけます。

農林水産省ホームページ
<https://www.maff.go.jp/>



新規就農の促進
(農林水産省ホームページ内)
https://www.maff.go.jp/new_farmer/

- ・ 施策情報 (新規就農者への支援等)
- ・ 参考情報 (新規就農に関する資料等)



あふてらす
(農林水産省ホームページ内)
https://www.maff.go.jp/aff_terrace/

農業に興味がある方、これからはじめたい方向けの
情報を発信しています。



東北農政局ホームページ
<https://www.maff.go.jp/tohoku>



MAFFアプリ (マフアプリ)

農業者と農林水産省をつなぐ
新たなコミュニケーションツール



編集後記

「青森で農業はじめました」をご覧いただきありがとうございます。
この事例集は、東北農政局青森県拠点の職員が、新規就農者の畑やハウスに直接お邪魔して取材を行い、皆様から伺った農業に対する熱い想いやライフスタイル、将来へのビジョン、今後、農業を始めたい皆さんへの応援メッセージなどを取りまとめたものです。

本事例集を手にとっていただいた方の中には、農業に関心がある方や既に就農準備を始めている方もいらっしゃるかも知れません。

そのような方々の参考になれば幸いと考えております。

お忙しい中、取材にご協力いただいた新規就農者の皆様をはじめ、新規就農者をご紹介いただいた関係機関の皆様におかれましては、紙面をお借りして心より御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

東北農政局青森県拠点では、農業現場の生の声や様々な取り組みを幅広く皆様にご紹介していきたいと考えております。今後ともよろしくお願い致します。

東北農政局 青森県拠点
地方参事官室 一同



青森で 農業をはじめませんか！

編集発行：東北農政局 青森県拠点 地方参事官室

電話：017-775-2151

F A X：017-723-3840

〒030-0861 青森県青森市長島一丁目3-25

(青森法務総合庁舎4階)

問い合わせ先 地方参事官室 (石川、葛西、木村、新山)